

Think Vantage 指紋認証

第 1 版 (2005 年 11 月)

© Copyright Lenovo 2006.

Portions © Copyright International Business Machines Corporation 2006.

All rights reserved.

(米国政府機関向けの契約条項) U.S. GOVERNMENT USERS – RESTRICTED RIGHTS: Our products and/or services are provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure by the Government is subject to the GSA ADP Schedule contract with Lenovo Group Limited, if any, or the standard terms of this commercial license, or if the agency is unable to accept this Program under these terms, then we provide this Program under the provisions set forth in Commercial Computer Software–Restricted Rights at FAR 52.227-19, when applicable, or under Rights in Data-General, FAR 52.227.14 (Alternate III).

目次

第 1 章 ThinkVantage Fingerprint Software のインストール	3	最初の使用	7
ThinkVantage Fingerprint Software のインストール	3	指紋チュートリアル	8
のアンインストール ThinkVantage Fingerprint Software	3	拡張セキュリティ	9
第 2 章 はじめに	5	指紋ログオン	9
指紋の登録	5	ユーザーの簡易切り替え	10
主要機能へのアクセス	5	Windows パスワードの変更（リセット）	11
コントロールセンター	5	第 4 章 ThinkVantage Fingerprint Software の管理	13
ヘルプの使用	6	コントロールセンター	13
第 3 章 ThinkVantage Fingerprint Software の使用	7	指紋	13
指紋の登録	7	設定	16
		チュートリアル	23
		指紋読み取り装置の情報パネル	23
		23

第 1 章 ThinkVantage Fingerprint Software のインストール

ThinkVantage Fingerprint Software のインストール

ThinkVantage Fingerprint Software は、Windows 2000、Windows XP Home/Professional Edition または、Windows Vista がインストールされ、USB ポートの空きがあるコンピュータにインストールできます。ThinkVantage Fingerprint Software のインストールまたはアンインストールには管理者権限が必要です。ThinkVantage Fingerprint Software がコンピュータにプリインストールされている場合は、この章を飛ばして先に進んでもかまいません。

ThinkVantage Fingerprint Software をインストールするには：

1. CD がある場合は、CD-ROM ドライブに挿入してください。CD がない場合は、Setup.exe を実行し、ステップ 2 は省略してください。
2. [ThinkVantage Fingerprint Software] 画面が表示されます。インストールアイコンをクリックします。ユーティリティ画面が表示されない場合は、CD 上にある Setup.exe を実行してください。
3. インストールウィザードの開始画面が表示されます。
4. [次へ] をクリックします。
5. ユーザー情報画面が表示されます。
6. 必要な情報を入力し、[次へ] をクリックします。
7. インストール先ディレクトリを確認または選択します。
8. [次へ] をクリックして、セットアッププログラムを実行します。
9. インストールが完了したら、表示されるプロンプトに従ってコンピュータを再起動します。

これでインストールは完了です。コンピュータを再起動するとログオン画面が表示されます。

メモ：この過程で、必要なデバイスドライバもすべてインストールされます。外付け指紋センサーは（使う場合）、インストールが終了しコンピュータを再起動してから接続してください。

のアンインストール ThinkVantage Fingerprint Software

ThinkVantage Fingerprint Software をアンインストールするには：

1. [スタート]- [コントロールパネル] をクリックします。
2. [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックします (Windows Vista の場合は [プログラムと機能])。
3. [ThinkVantage Fingerprint Software] を選択し、[変更] ボタンをクリックします。
4. [削除] ボタンをクリックします。

5. コンピュータに保存されている ThinkVantage Fingerprint Software のデータの扱いを指定するよう求められます。次の2つの選択肢があります。
 - ThinkVantage Fingerprint Software のデータを後で使用できるようにコンピュータに残す。この場合、ThinkVantage Fingerprint Software を後で再インストールすると、指紋データを再び使用して、コンピュータにログインすることができます。
 - すべての ThinkVantage Fingerprint Software データをコンピュータから削除します。登録された指紋は完全に削除されます。

第 2 章 はじめに

ThinkVantage Fingerprint Software は、指紋認証を使用して、データのセキュリティ保護を行うソフトウェアです。指紋認証は、指紋センサー上で指を読み取ることで実行します。

ソフトウェアをインストールして、コンピュータを再起動したら、指紋を登録して、ユーザー名、パスワードおよび指紋を関連付ける必要があります。これにより、セキュリティキーが自動的に生成されます。すべてのデータはユーザーのパスポートに格納されます。この手順を "指紋登録" といいます。

この章では、ソフトウェアの操作を容易に始められるように主要機能について説明します。各機能の詳しい説明については 7 ページの「ThinkVantage Fingerprint Software の使用」(第 3 章)を参照してください。また、ThinkVantage Fingerprint Software の管理方法については 13 ページの「ThinkVantage Fingerprint Software の管理」(第 4 章)を参照してください。

メモ：各 Windows ユーザーは ThinkVantage Fingerprint Software 固有のパスポートを作成する必要があります。

指紋の登録

ThinkVantage Fingerprint Software では、各ユーザーの識別にパスポートを使います。このファイルには生体認証用の指紋データが格納され、ユーザーの認証に使用されます。

ソフトウェアを初めて使用するときは、パスポート用に指紋のサンプルを作成する必要があります。

[登録] ウィザードを起動するには：

- [スタート] メニュー - [プログラム] - [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software] - [ユーザー登録] を選択します。

画面の指示に従って操作してください。詳細については、7 ページの「指紋の登録」(第 3 章)を参照してください。

主要機能へのアクセス

コントロールセンター

ThinkVantage Fingerprint Software の [設定] の全般的な設定や、[指紋] の管理機能には (パスポートの編集や削除など)、[コントロールセンター] ダイアログからアクセスできます。

コントロールセンターを表示するには：

- [スタート] - [プログラム] - [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software] - [コントロールセンター] を選択します。

コントロールセンターのメイン画面が表示されます。この画面には、ソフトウェアの主要機能が表示されます。機能の名前をクリックすると、画面に使用できる操作が一覧表示されます。これには、[指紋]、[設定]、[チュートリアル] があります。

コントロールセンターとその機能の詳細については、13 ページの「コントロールセンター」(第4章)を参照してください。

ヘルプの使用

ThinkVantage Fingerprint Software には、HTML ベースのヘルプシステムが用意されています。

HTML ヘルプを表示するには：

- [スタート] - [プログラム] - [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**] - [ヘルプ] を選択します。
- コントロールセンターダイアログの [ヘルプ] アイコンをクリックします。また、ほとんどのダイアログで状況依存のヘルプを表示できます。

状況依存のヘルプを表示するには：

- HTML ヘルプが必要なダイアログで F1 を押します。

第 3 章 ThinkVantage Fingerprint Software の使用

この章では、ThinkVantage Fingerprint Software の機能について詳しく説明します。

7 ページの「指紋の登録」

9 ページの「指紋ログオン」

指紋の登録

ThinkVantage Fingerprint Software の使用を始める前に、(複数の)指を登録する必要があります。指紋登録では、ユーザー名、パスワード、指紋(元のイメージを復元できないように処理したもの)、および自動生成されたセキュリティキーの対応付けを行います。すべてのデータは指紋パスポートに保存されます。

最初の使用

新しいパスポートを作成するには(指紋の登録):

1. 外付け指紋センサーを使う場合、そのデバイスを接続します。必要なドライバはすべて ThinkVantage Fingerprint Software と共にインストールされています。センサーが接続され、使用する準備が完了したという情報メッセージが、画面の右下に表示されます。
2. 使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書をよくお読みください。
3. 使用許諾契約書に同意するかどうか、ラジオボタンで選択します。メモ: この製品をインストールするためには使用許諾契約書に同意する必要があります。使用許諾契約書に同意できない場合は [キャンセル] ボタンをクリックして、アプリケーションを終了してください。
4. [登録] ウィザードを起動するには、以下の操作を行います。
[スタート] - [プログラム] - [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software] - [ユーザー登録] を選択します。
コントロールセンターの [指紋] - [指紋の登録、または編集] を選択します。
5. ユーザー名、パスワード、ドメイン(必要な場合)を入力し、[次へ] をクリックします。
6. [次へ] をクリックすると指紋チュートリアルに切り替わります。または、[対話型チュートリアルを実行する] チェックボックスをオフにして、[次へ] をクリックし、チュートリアルをスキップします(チュートリアルの手順については 8 ページの「指紋チュートリアル」を参照)。
7. 登録する指の上にあるボックスをクリックします。チュートリアルに従って、指のサンプルを 3 つ作成します(8 ページの「指紋チュートリアル」を参照)。これらのサンプルは、1 つの指紋パスポートに統合されます。作成した 3 つのサンプルが一致しない場合は警告が表示されます。

8. (オプション) デバイスへの登録が選択され、システム設定でパワーオンセキュリティが有効になっている場合、登録されているすべての指紋はパワーオンセキュリティにも使用されます。
9. (オプション) ハードドライブへの登録が選択され、システム設定でパワーオンセキュリティが有効になっている場合、登録されている指紋はパワーオンセキュリティにも使用されます。

それぞれの指の上に [パワーオン] ボタンが表示されます。既定では、[パワーオン] ボタンは " 押された " 状態で表示されます。対応する指がパワーオンセキュリティに使用されます。パワーオンセキュリティに指を使用せず、ログオンにのみ使用する場合、[パワーオン] ボタンをクリックして、デバイスメモリから指を削除します。
10. 別の指を選択してその指紋を登録します。最大 10 本の指の指紋を登録できます。指をケガした場合を考慮し、複数の指を登録することを強く推奨します。終了したら、[次へ] をクリックします。
11. 一部のハードウェアの設定では、暗号化によってさらにデータセキュリティが強化されます。このような設定では、拡張セキュリティのタイプの追加ダイアログが表示されます。
 - [現在のユーザーの拡張セキュリティを有効にする] をオンにして、TPM などの追加の暗号化を指定できるようにします。
 - 拡張セキュリティのタイプを設定します。詳細については 9 ページの「拡張セキュリティ」を参照してください。
 - バックアップパスワードを作成します。このパスワードは、センサーのハードウェア故障時に、指紋認証を省略するときに使用します。
12. パワーオンセキュリティに追加されている指については、最終ページで説明されている以下の操作を実行する必要があります。
 - コンピュータの電源を切ります。
 - コンピュータの電源を入れます。
 - プロンプトが表示されたら指をスキャンします。プロンプトが表示されたらパワーオンパスワードを入力します (これにより、指とパスワードが関連付けられます)。
13. これで終了です。[完了] をクリックしてください。

メモ：パスポートは、Windows のユーザーごとに 1 つしか作成できません。ユーザーアカウントを作成するには、[スタート]- [コントロールパネル] を選択し、[ユーザーアカウント] をクリックします。画面の指示に従って操作してください。

指紋チュートリアル

指紋チュートリアルを実行することを強くお勧めします。チュートリアルでは、指紋の正しいスキャン方法、誤ったスキャン方法を、短いビデオで説明しています。また、実際に指紋をスキャンしてみることができます。

指紋に関するチュートリアルを実行するには：

1. チュートリアルを起動するには、[スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [指紋チュートリアル] を選択します。

指紋登録のウィザードから実行します。

コントロールセンターダイアログで、[チュートリアル] を選択します

2. 最初のページでは、チュートリアル目的が説明されます。
3. 次のページでは、正しいスキャン方法の説明と、短いデモンストレーションビデオが表示されます。
 - センサーに指の第一関節までを乗せます。
 - センサーに指を密着させたまま、指を上から下にまっすぐ滑らせます。
 - 指が水平に保たれるよう注意します。
4. 次のページでは、指紋のサンプルを4つ作成します。サンプルどうしが一致しない場合は、[やり直し] ボタンをクリックして再度読み取ります。[ビデオ再生] ボタンでビデオのデモンストレーションを再生できます。サンプルを正しく作成できたら、[完了] をクリックしてチュートリアルを閉じるか、登録ウィザードに戻ります。

メモ：バイオメトリックス操作（登録、認証、チュートリアル）は、節電のため、約2分間何も操作が行われないとタイムアウトになります。タイムアウトになった場合は、プロセスを再起動します。

拡張セキュリティ

ThinkVantage Fingerprint Software のセキュリティは、暗号化を適用することによってさらに向上します。適用できる暗号化方式は、ハードウェアによって異なります。拡張セキュリティの有効/無効は、ユーザーごとに、[指紋の登録、または編集] ウィザードの最後に設定できます。暗号化のタイプは、このダイアログで変更することで、必要なセキュリティレベルとユーザーの都合に合わせて調整できます。

拡張セキュリティを有効にする（オプション）

1. [スタート] - [プログラム] - [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software] - [ユーザー登録] を選択します
2. 登録後の [拡張セキュリティ] ダイアログで、[現在のユーザーの拡張セキュリティを有効にする] を選択して現在のユーザーの拡張セキュリティを有効にします。
3. 拡張セキュリティのタイプを設定します。
 - 指紋リーダーキー (TPM あり)：専用のハードウェアを使う、高度なセキュリティ方式です。TPM セキュリティチップと指紋読み取り装置の通信チャネルを暗号化することにより、機密データのセキュリティをさらに高めます。最高のセキュリティを必要とする場合にお勧めの方式です。
 - 指紋リーダーのキー：専用のハードウェアを使うセキュリティ方式です。指紋読み取り装置内に格納された保護キーを使って機密データを暗号化します。指紋が一致しなければ復号できません。データの暗号化キーは、指紋デバイスに保存されているものを使います。
4. バックアップパスワードを設定します。このバックアップパスワードは、ハードウェアの故障時など、指紋認証を省略したいときに使用します。複雑で推測しにくいパスワードの使用をお勧めします。設定しておかないと、認証ハードウェアが故障した場合、データが失われてしまう恐れがあります。

指紋ログオンを有効にするには、指紋を登録する必要があります(7 ページの「指紋の登録」を参照)。ユーザー登録時に、指紋サンプルがスキャンされ、指紋サンプルと Windows ユーザーアカウントが関連付けられます。コンピュータを再起動して、再度ログオンするときには、ログオンダイアログが表示され、センサーで指を読み取るか、または **Ctrl + Alt + Del** を押して Windows パスワードを使用してログオンするように要求されます。一度読み取りを行うと、登録した指紋が認識されて、ログオンできます。

生態認証ログオンは、スクリーンセーバーや、省電力機能からの復帰の保護も行います(スクリーンセーバーやスタンバイからのパスワードで保護された復帰をシステムで設定する必要があります。[スタート]- [コントロールパネル] を選択し、[画面] をクリックします。[スクリーンセーバー] タブを選択してスクリーンセーバーを選択します)。

指紋ログオンを無効にするには：

- [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
- [システム設定]- [ログオン] を選択します。
- [標準 Windows ログオン] ラジオボタンを選択します。指紋ログオンが無効になり、システムに標準の Windows ログオンを使用してログオンできるようになります。

指紋ログオンを有効にするには：

- [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
- [設定]- [システム設定]- [ログオン] を選択します。
- [指紋ログオン] ラジオボタンを選択すると、Windows パスワードの代わりに指紋を使用したシステムログオンが有効になります。

ログオン設定の詳細については、第 4 章「コントロールセンター」の 16 ページの「ログオン」を参照してください。

メモ：コンピュータの保護のためには Windows パスワードを設定しておく必要があります。Windows パスワードを設定しておかないと、ThinkVantage Fingerprint Software があってもアクセスの安全性を保証することはできません。

ThinkVantage Fingerprint Software は、Novell ネットワークのログオンとも連携します。ThinkVantage Fingerprint Software を介して Novell ネットワークに自動ログオンするためには、Windows 側のユーザー名とパスワードが、Novell 側のそれと一致している必要があります。Novell クライアントの 4.83 および 4.90 では、ThinkVantage Fingerprint Software は動作しません。

ユーザーの簡易切り替え

Windows のユーザーの簡易切り替え機能にも対応しています。ユーザーを切り替える場合は、[スタート]- [ユーザーの切り替え] を選択します。別のユーザーが登録済みの指をセンサーでスキャンすると、そのユーザーの指紋が認識され、ユーザーはログオンされます。

ユーザーの簡易切り替えを有効にするには：

1. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。

2. [設定] - [システム設定] を選択します。
3. [ログオン] タブを選択します。
4. [ユーザーの簡易切り替え (FUS) サポートを有効にする] オプションを選択します。このオプションが表示されていない場合、FUS はお使いのシステムではサポートされていません (コンピュータがドメインのメンバである場合など。FUS サポートを有効にするには、ドメインからコンピュータを削除する必要があります)。

コンピュータをドメインから削除するには：

1. デスクトップまたは [スタート] メニューで [マイコンピュータ] (Windows Vista では [コンピュータ]) を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
2. Windows Vista の場合は、[設定の変更] リンクをクリックして、自分自身を管理者として認証します。
3. [コンピュータ名] タブを選択します。
4. [変更] ボタン (または [名前の変更]) をクリックして、[所属するグループ] パネルの [ワークグループ] ラジオボタンを選択します。

メモ：ドメインからコンピュータを削除できるのは管理者だけです。

Windows パスワードの変更 (リセット)

Windows ログオンパスワードは、ユーザーがコントロールパネルまたは Ctrl + Alt + Del ダイアログを使用して変更することも、管理者がパスワードリセットを使用して変更することもできます。ThinkVantage Fingerprint Software に対しては、両方のパスワードの変更方法に違いはありません。シナリオは、使用されるユーザーアカウントの種類と、ユーザーがコンピュータにログオンする方法によって異なります。

これは、Windows 2000、および Windows XP に適用されます (Windows Vista では、機能は似ていますが表示される GUI が異なります)。

ワークグループまたはドメイン内のコンピュータでローカルユーザーアカウントが使用された場合、次の 2 つのシナリオが考えられます：

1. ユーザーが Windows のユーザー名とパスワードを使用してログオンした後にパスワードが変更された場合。
 - ユーザーがコンピュータをロックするか、またはログオンします。
 - ユーザーが登録済みの指紋をスキャンします。
 - 間違ったユーザー名またはパスワードが使用されているという警告が表示されます。
 - ユーザーは新しいパスワードを入力する必要があります。このパスワードが指紋パスポートに格納され、パスポートが更新され、ユーザーはコンピュータにログオンされます。次回以降の指紋ログオンは通常どおりに行われます。
2. ユーザーが登録済みの指紋を使用してログオンした後にパスワードが変更された場合。
 - パスワードは指紋パスポートに格納されます。後で新しいパスワードを再入力する必要はありません。
 - ユーザーがコンピュータをロックするか、またはログオフします。
 - ユーザーが登録済みの指紋を読み取ります。
 - コンピュータがアンロックされるか、またはユーザーがログオンします。

ドメイン内でドメインユーザーアカウントが使用された場合：

ユーザーが Windows のユーザー名とパスワードまたは登録済みの指紋を使用してログオンし、その後でパスワードが変更された場合。

- ユーザーがコンピュータをロックするか、またはログオンします。
- ユーザーが登録済みの指紋をスキャンします。
- 間違ったユーザー名またはパスワードが使用されているという警告が表示されます。
- ユーザーは新しいパスワードを入力する必要があります。このパスワードが指紋パスポートに格納され、パスポートが更新され、ユーザーはコンピュータにログオンされます。次回以降の指紋ログオンは通常どおりに行われます。

特殊なケース：

"ユーザーは次回のログオン時にパスワード変更が必要" が設定されているか、またはドメイン上でパスワードの有効期限が指定されている場合。

- クライアントコンピュータ上でユーザーが登録済みの指紋を使用してログオンします。
- ユーザーにパスワードを変更するよう求めるダイアログが表示されます。このパスワードが指紋パスポートに格納され、パスポートが更新され、ユーザーはコンピュータにログオンされます。次回以降の指紋ログオンは通常どおりに行われます。

第 4 章 ThinkVantage Fingerprint Software の管理

ThinkVantage 指紋認証ユーティリティの設定は、コントロールセンターダイアログからアクセスできます。この章ではこの機能について説明します。

ThinkVantage Fingerprint Software の機能は、Windows の [スタート] メニューからもアクセスできます。[スタート]- [プログラム]- [ThinkVantage Fingerprint Software] を選択して使用できる機能を一覧表示します。

コントロールセンター

コントロールセンターには、指紋の管理および指紋認証ユーティリティの設定に役立つ機能が複数用意されています。これには、[指紋]、[設定]、[チュートリアル] があります。使用できるオプションは、ソフトウェアの状態、使用するハードウェア、およびインストールされているアプリケーションによって異なります。

コントロールセンターを表示するには：

- [スタート]- [プログラム]- [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software]- [コントロールセンター] を選択します。

ユーザーの管理者権限の昇格 (Windows Vista のみ)

システム設定にアクセスして変更したり、他のユーザーのアカウントを管理または変更 (他のユーザーの指紋を登録または削除するなど) したりする場合、ユーザーは自分自身を許可されているユーザーとして認証するなど、管理者権限を昇格する必要があります。

1. [ユーザーの管理者権限の昇格] をクリックします。
2. [Vista のユーザーアカウントの制御] ダイアログが表示されたら、資格情報を入力してシステムへの認証を行います (または、すでに管理者としてログオンしている場合は、処理の続行を許可します)。
3. [コントロールセンター] ダイアログが、今度は盾アイコンなしで表示されます。これで管理者権限が昇格されました。[設定]- [システム設定] にアクセスして、変更できます。

[コントロールセンター] ダイアログを実行するたびに、この手順を繰り返す必要があります。

指紋

ユーザーの指紋は登録、編集および削除することができます。また、パワーオンセキュリティを有効にしている場合は、デバイスメモリに格納されている指紋も管理できます。使用できる機能は、インストールされている ThinkVantage Fingerprint Software のバージョン、指紋センサー、既存パスポート、および現在のユーザーの管理権限によって異なります。

メモ：使用できる機能は、現在のユーザーの管理権限によって異なります。保護モードでは、指紋管理者に指名されているユーザーが (18 ページの「セキュリティ

モード」を参照)全ユーザーのパスポートを登録および編集できます。簡易モードでは、登録または編集できるのは自分自身のパスポートのみです。

指紋の登録、または編集

指紋登録では、ユーザー名、パスワード、指紋(元のイメージを復元できないように処理したもの)、および自動生成されたセキュリティキーの対応付けを行います。すべてのデータはユーザーの指紋パスポートに格納されます。

登録後は、ユーザー名とパスワードではなく、指紋で認証できるようになります。**パスポートを登録または編集するには(指紋の登録または編集):**

1. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
2. [指紋] をクリックします。
3. [指紋の登録または編集] をクリックします。

保護モードでは(18 ページの「セキュリティモード」参照)、既存のパスポートが一覧表示されます。ユーザーを選択し、[編集] ボタンをクリックして、既存ユーザーの指紋を編集するか、[登録] をクリックして新しいユーザーを登録します。

4. [登録ウィザード] 画面が表示されます。
5. 指紋センサーで指を読み取るか、Windows パスワードまたは拡張セキュリティのバックアップパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
6. 次のいずれかの操作をしてください。
 - 新しい指紋を登録するには：
 - 登録する指を選択し、指の上にあるボックスをクリックします。
 - 選択した指を指紋センサーで読み取ります。1つの指紋の登録には3つの正常な画像が必要です(詳細については、第3章、7ページの「指紋の登録」を参照してください)。
 - 指紋を削除するには：
 - 削除する指を選択し、指の上にあるボックスをクリックします。
 - [OK] をクリックします。
7. (オプション) デバイスへの登録が選択され、システム設定でパワーオンセキュリティが有効になっている場合、登録されているすべての指紋はパワーオンセキュリティにも使用されます。
8. (オプション) ハードドライブへの登録が選択され、システム設定でパワーオンセキュリティが有効になっている場合、登録されている指紋はパワーオンセキュリティにも使用されます。
9. それぞれの指の上に [パワーオン] ボタンが表示されます。既定では、[パワーオン] ボタンは " 押された " 状態で表示されます。対応する指がパワーオンセキュリティに使用されます。パワーオンセキュリティに指を使用せず、ログオンにのみ使用する場合、[パワーオン] ボタンをクリックして、デバイスメモリから指を削除します。
10. [次へ] をクリックして、登録を終了するか、または7ページの「指紋の登録」で説明されている追加のオプション設定(拡張セキュリティなど)を行います。

削除

使用できる機能は現在のユーザーの管理者権限によって異なります。保護モードでは(18ページの「セキュリティモード」を参照)、指紋管理者に指名されているユーザーのみがユーザーパスポートを削除できます。

既存のパスポートを削除するには(全ユーザーのデータ)

11. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
12. [指紋] をクリックします。
13. [削除] をクリックします。
簡易モードでは、指を読み取って認証するか、パスポートの削除を確認します。
保護モードでは、既存のパスポートが一覧表示されます。削除するパスポートを選択し、削除を確認してください。

ユーザーパスポートのインポートまたはエクスポート

既存のユーザーデータ(指紋、暗号化キー、ログオン資格情報を含む)は、*.vtpファイル(パスポートファイル)にエクスポートしたり、指紋認証ユーティリティに再びインポートしたりできます。*.vtpファイルは、エクスポート時に指定したパスワードを使って暗号化されます。既存ユーザーのパスポートはインポートできません。この場合、最初にユーザーパスポートを削除する必要があります。

ヒント: バックアップを作成するためにパスポートをエクスポートすることをお勧めします。

既存のパスポートをエクスポートするには

1. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
2. [指紋] をクリックします。
3. [ユーザーデータのインポートまたはエクスポート] をクリックします。
保護モードでは、既存のパスポートが一覧表示されます。エクスポートするパスポートを選択し、[エクスポート] をクリックします)。
4. エクスポート先のファイル(*.vtp)を選択します。
5. エクスポートされたデータを保護するパスワードを指定します。
6. エクスポートするパスポートに含まれている指を認証します。

パスポートをインポートするには

1. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
2. [指紋] をクリックします。
3. [ユーザーデータのインポートまたはエクスポート] をクリックします。セキュアモードでは、既存のパスポートが一覧表示されます。[インポート] をクリックします。
4. パスポートファイル(*.vtp)を参照します。
5. エクスポート時に指定したパスワードを入力します。

設定

ThinkVantage Fingerprint Software の設定ダイアログには ThinkVantage Fingerprint Software を設定するためのいくつかのオプションが表示されます。ここで説明する [設定] の一部の機能は表示されない場合があります。使用できる機能は、インストールされている ThinkVantage Fingerprint Software のバージョンや、現在のユーザーの管理権限によって異なります。

システム設定

システム設定には、すべてのユーザーに共通の設定が含まれています。この設定は管理者しか操作できません。次の機能は、[システム設定] で設定することができます。

全般、ログオン、セキュリティモード、音声、生体認証

Windows Vista を使用している場合は、[コントロールセンター] の [ユーザーの管理者権限の昇格] をクリックして、[システム設定] や他のユーザーアカウントを変更するための管理権限を取得してください。

全般

[Windows スタートアップ時にコントロールセンターを表示する] をオンにすると、Windows のログオン時に [コントロールセンター] が常に表示されます。

ログオン

管理者のみログオン設定を変更することができます。また、変更内容によってはコンピュータの再起動が必要です。[ログオン] 設定画面では、次の設定が可能です。

- Windows ログオンを指紋保護ログオンと置き換える
- パワーオンセキュリティにより認証済みユーザーが自動的にログオンできるようにする (オプション)
- ユーザーの簡易切り替え機能を有効にする (オプション)

ログオン設定を変更するには：

1. [スタート] - [プログラム] - [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software] - [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定] - [システム設定設定] - [ログオン] を選択します。
3. 以下を選択します。
 - [指紋ログオン] - このオプションを選択すると、コンピュータへの指紋ログオンが有効になります。
 - [CTRL + ALT + DEL メッセージを表示しない] - 標準の Windows CTRL + ALT + DEL メッセージが表示されないようにします。指をスキャンするためのプロンプトだけが表示されます (ユーザー名 / ドメイン / パスワードを入力するログオンダイアログは、Ctrl + Alt + Delete キーを押すと呼び出すことができ、これによってユーザーはユーザー名とパスワードを使用してログオンすることができます)。
 - [Windows パスワードによるログオンのスキップを許可する] - このオプションを選択した場合、標準の Windows ログオンを使用できます。オフにすると、ユーザー名とパスワードを使用してログオンできるのは、指紋管理者だけになります。

- [ログオン時にユーザーの自己登録を許可する] - ユーザーはコンピュータへのログオン時に指を自己登録できます。
 - **Windows Vista** を使用している場合は、[詳細] をクリックして、ユーザー認証がシステムでどのように管理されているか、資格情報プロバイダの設定を確認してください。詳細については、後述の「**Windows Vista** の資格情報プロバイダ」を参照してください。
 - [ユーザーの簡易切り替え] - このオプションを選択すると、指紋で制御される、生体認証によるユーザーの簡易切り替えが有効になります(システムでサポートされている場合)。ユーザーの簡易切り替えはサポートされているが有効になっていない場合、システムで有効にするよう求められます。ユーザーの簡易切り替えは、コンピュータがドメインのメンバである場合は有効にできません。
 - [標準の **Windows** ログオン] - このオプションを選択すると、指紋ログオンは無効になり、標準の **Windows** ログオンが使用されます。
 - [パワーオンセキュリティの単一サインオンを許可する] - このオプションを選択すると、パワーオン指紋認証とログオン指紋認証が 1つのステップで実行されます。**BIOS** レベルで認証済みのユーザーは、自動的に **Windows** にログオンできます。
4. [OK] をクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows Vista の資格情報プロバイダ

資格情報プロバイダでは、システムの認証にさまざまな方法を指定できます。**Microsoft** パスワードプロバイダはユーザー名とパスワードを要件とし、指紋プロバイダはセンサーによる指のスキャンを要件とします。資格情報プロバイダの一覧は、特定のシステムの設定によって異なります。

プロバイダの設定を表示するには：

1. [スタート] - [プログラム] - [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**] - [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定] - [システム設定] - [ログオン] を選択します。
3. [詳細] をクリックします。
4. 資格情報プロバイダには、次の機能を定義できます。
 - [ログオン] は、ユーザーがシステムにログオンする際の認証方法を定義します(指紋のみ、名前とパスワードなど)。
 - [アンロック] は、ユーザーがコンピュータをアンロックする際の認証方法に定義します。
 - [管理者として実行] は、**Windows Vista** の機能です。限定ユーザーとしてログオンしているユーザーが、管理者として認証され、管理者だけに制限されているアプリケーションを実行できます。
 - [パスワードを変更] は、ユーザーパスワードの変更に必要な認証タイプを定義します(指紋認証、ユーザー名とパスワードなど)。
5. 以下を選択します。
 - [登録されているユーザーのタイル画像をマークする] を選択すると、ユーザーが登録され、ログオンが指紋で管理されることを表すマークとして、指紋のアイコンがユーザーアカウントタイルの画像上に表示されます。選択しない場合、アカウントタイルは通常どおりに表示されます。この設定では、

Microsoft パスワードプロバイダが "ラップ" 状態に設定されます (後述の説明を参照)。

- [ログオン時にユーザーの自己登録を許可する] を選択すると、有効なパスワードがあり、指紋を登録していないユーザーが、コンピュータにログオンするときに指を登録できます。
6. プロバイダの設定を変更するには、一覧からプロバイダを選択し、[詳細 ...] をクリックします (またはプロバイダをダブルクリックします)。

メモ：指紋プロバイダおよび Microsoft パスワードプロバイダをユーザーが設定することはできません。これらの設定は事前定義されています。

7. 選択したプロバイダを表示するダイアログが表示されます。次のオプションがあります。
- [オン] を選択するとプロバイダがオンになります。たとえば、[ログオン] セクションで指紋プロバイダが [オン] に設定されている場合、ユーザーはコンピュータへのログオン時に指をセンサーでスキャンして認証するよう求められます。
 - [オフ] を選択するとプロバイダがオフになります。たとえば、[ログオン] セクションで Microsoft パスワードプロバイダが [オフ]、指紋プロバイダが [オン] に設定されている場合、ログオン時には指紋認証のみが許可されます。
 - [ラップ] - ラップされたプロバイダはユーザーにはオンになっているように見えますが、このプロバイダの機能は指紋プロバイダによって制御されます。

指紋プロバイダは、ラップとして設定することはできませんが、他のプロバイダ (Microsoft パスワードプロバイダなど) をラップにすることはできます。

セキュリティモード

ThinkVantage Fingerprint Software では、次の3つのセキュリティモードを実行できます。

保護モード、簡易モード、およびカスタムモード

これらのセキュリティモードでは、ユーザーに与えられる権限が異なります。これらの権限には、ユーザーを登録する権限、指紋を削除または編集する権限などが含まれます。

[詳細] をクリックすると、各モードのセキュリティポリシーの設定を確認できます。編集できるのは、カスタムモードのポリシーだけです。

指紋管理者のグループ

"指紋管理者" として指定されているユーザーのローカルまたはドメインセキュリティグループの一覧が含まれます。ThinkVantage Fingerprint Software のユーザーには管理の管理者権限が与えられます。これらのユーザーの権限は、セキュリティモードのポリシーで指定されます (以下を参照)。

セキュリティモードを選択するには：

1. [スタート] - [プログラム] - [ThinkVantage Fingerprint Software] - [コントロールセンター] を選択します。

2. [設定] - [システム設定] を選択します。
3. [セキュリティモード] タブを選択します。次のオプションを選択します。
 - **保護モード**。保護モードでは、指紋管理者のみがすべての指紋管理機能（全ユーザーの指紋パスポートの作成、削除など）に無制限にアクセスできます。これらの機能には、指紋デバイス内データ管理およびパワーオンセキュリティ管理も含まれます。
 - **簡易モード**。簡易モードでは、すべてのユーザーが同じ権限を共有します。たとえば、すべてのユーザーが自分自身の指紋パスポートを作成、編集、または削除できます。
 - **カスタムモード**。カスタムモードのポリシーの設定は、管理者と限定ユーザーに対して別々にセットアップできます。
4. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

セキュリティモードのポリシー

保護モードおよび簡易モードのポリシーはあらかじめ設定されており、変更することはできません。変更できるのは、カスタムモードのポリシーだけです。ポリシーを選択してダブルクリックすると、詳細を確認できます。

ポリシーをカスタムモードで編集するには：

1. [スタート] - [プログラム] - [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**] - [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定] - [システム設定] を選択します。
3. [セキュリティモード] タブを選択します。
4. [カスタム] ラジオボタンをクリックして、[詳細] をクリックします。ポリシーウィンドウが表示されます。以下のポリシーの詳細を参照してください。
5. [変更] ボタンをクリックするか、またはダブルクリックして、ポリシー設定を編集します。
6. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

ポリシーは、指紋管理者と限定ユーザーアカウントに対して別々に定義できます。[許可] または [拒否] を選択して、各ユーザーグループの権限を設定します。

ポリシーの設定を簡易モードまたは保護モードからカスタムモードにコピーし、さらに編集することができます。これは、ポリシーの設定を少しだけ変更したい場合に便利です。

ポリシーを簡易モードまたは保護モードからコピーするには：

1. [スタート] - [プログラム] - [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**] - [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定] - [システム設定] をクリックします。
3. [セキュリティモード] タブを選択します。
4. [カスタム] ラジオボタンをクリックして、[詳細] をクリックします。ポリシーのウィンドウが表示されます。以下のポリシーの詳細を参照してください。
5. [コピー] ボタンをクリックしてポリシーの設定をコピーします。
6. [保護モード] または [簡易モード] を選択すると、選択したモードからポリシーの設定がコピーされます。
7. これで [変更] ボタンを使用してポリシーを編集できます。

8. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

ポリシーの詳細

ポリシーを選択してダブルクリックすると、詳細を確認できます。

登録：

- 他のユーザーを削除する：このコンピュータに登録されているユーザーの指紋パスポートを削除することを許可します。パスポートを削除する前に認証は必要ありません。
- 自分自身を削除する：認証後に、現在ログオンしているユーザーの指紋パスポートを削除することを許可します。
- 他のユーザーを編集する：このコンピュータに登録されているユーザーの指紋パスポートを編集（登録済みの指紋の追加または削除など）することを許可します。
- 自分自身を編集する：現在ログオンしているユーザーの指紋パスポートを編集（登録済みの指紋の追加または削除など）することを許可します。
- 他のユーザーを登録する：他のユーザーが指紋を登録することを許可します。有効な Windows アカウントを持つユーザーのみ登録できます。
- 自分自身を登録する：現在ログオンしているユーザーが指紋を登録することを許可します。
- 指紋をスキャンせずにユーザーを登録する：ユーザーが指紋のスキャンなしで登録されることを許可します。次回ログオン時に、ユーザーは指紋をスキャンするよう求められます。
- 他のユーザーをエクスポートする：このコンピュータに登録されているユーザーの指紋パスポートをエクスポートすることを許可します。
- 自分自身をエクスポートする：現在ログオンしているユーザーの指紋パスポートをエクスポートすることを許可します。
- 他のユーザーをインポートする：このコンピュータに登録されているユーザーの指紋パスポートをインポートすることを許可します。
- 自分自身をインポートする：現在ログオンしているユーザーの指紋パスポートをインポートすることを許可します。
- パスワードを表示する：指紋の登録時にユーザーの Windows パスワードが表示されることを許可します。

指紋デバイス内データ管理：

- 任意の指紋を削除する：デバイスからの指紋の削除を許可します（このポリシーを有効にするには、[指紋デバイス内データ管理を使用する] ポリシーが有効になっている必要があります）。
- 他のユーザーの指紋を削除する：他のユーザーの指紋を削除することを許可します。ただし、各ユーザーに対して 1 つ以上の指紋を残す必要があります（このポリシーを有効にするには、[指紋デバイス内データ管理を使用する] ポリシーが有効になっている必要があります）。

- 使用されていない指紋を削除する：以前のインストールからの指紋レコードなど、ローカルで登録されているユーザーに属さない指紋レコードを削除することを許可します（このポリシーを有効にするには、[指紋デバイス内データ管理を使用する] ポリシーが有効になっている必要があります）。
- 指紋デバイス内データ管理を使用する：指紋デバイス内データ管理を使用することを許可します。ユーザーは自分自身の指紋のみを削除できます（1 つ以上の指紋を残す必要があるため、最後の 1 つは除きます）。

パワーオンセキュリティ：

- パワーオンセキュリティに指紋を追加する：登録時に指紋をパワーオンセキュリティに追加することを許可します。無効にした場合、登録した指紋をパワーオンセキュリティ認証に使用することはできません。
- パワーオンセキュリティを有効/無効にする：このコンピュータでパワーオンセキュリティを有効または無効にすることを許可します。

音声

選択した音声は、指紋の操作が成功または失敗したときに再生されます。既定のシステム音声を使用したり、音声を無効にしたりすることができます。また、任意のオーディオファイル(.wav 形式)を参照することもできます。

生体認証

この設定では、指紋センサーのセキュリティレベルの設定を変更できます。変更を加えるたび再起動する必要があります。

生体認証の設定を変更するには：

1. [スタート]- [プログラム]- [ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software]- [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定]- [システム設定] をクリックして、[セキュリティモード]- [生体認証] に移動します。

• 侵入者ロックアウト

- ロックアウト回数：デバイスをロックするまでの認証の試行（指の読み取り）の失敗回数を設定します。
- ロックアウト時間：デバイスをロックするまでの時間を設定します。設定された時間が経過したら、指紋センサーを再び使用できます。
- 生体認証のパフォーマンス：指紋のスキャンと登録済みサンプルがどれくらい正確に一致する必要があるかを設定します。最低のレベルに設定すると、デバイスのセキュリティが侵害される可能性があることに注意してください。ただし、最高のレベルに設定すると、登録済みサンプルとの完璧な一致が求められるため、許可されているユーザーでも認証に繰り返し失敗する可能性があります。デフォルトのレベル（中）に設定することを推奨します。

パワーオンセキュリティ（オプション）

パワーオンセキュリティ機能は、ユーザーのコンピュータへの未許可のアクセスを BIOS レベルで防ぎます。パワーオンセキュリティが有効なコンピュータは、指紋認証に成功しない限りハードドライブからオペレーティングシステムを起動しません。

指紋サンプルは、指紋デバイスのメモリに格納されています。コンピュータの起動時に、ユーザーは指紋認証を求められます。指をセンサーでスキャンする時間は限られています。コンピュータは、スキャンされた指紋が指紋デバイスのメモリに格

納されているサンプルに一致する場合のみ起動します。認証に成功すると、起動プロセスが通常どおり続行されます。

でのパワーオンセキュリティの有効化 ThinkVantage Fingerprint Software

パワーオンセキュリティを操作するためのオプションは、この機能がコンピュータでサポートされている場合のみ表示されます。この機能は主にラップトップコンピュータでサポートされています。ほとんどの設定では、最初のユーザーの登録後パワーオンセキュリティが自動的に有効になります。

パワーオンセキュリティを有効または無効にするには：

1. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定]- [パワーオンセキュリティ] をクリックします
3. [パワーオンおよびハードドライブのパスワードを指紋読み取り装置に差し替える] チェックボックスをオンにします。
4. [終了] をクリックします。

パワーオンセキュリティの単一サインオン

パワーオンセキュリティは、指紋ログオンと連携するように設定できます。BIOS パワーオンセキュリティ機能で使用される指紋が、ある既存のパスポートの指紋と一致する場合、該当するユーザーは、Windows パスワードを入力せずに自動的にログオンすることができます。

パワーオンセキュリティで認証済みのユーザーを Windows ログオンで自動的に有効にするには：

1. [スタート]- [プログラム]- [**ThinkVantage > ThinkVantage Fingerprint Software**]- [コントロールセンター] を選択します。
2. [設定]- [システム設定] をクリックします。
3. [ログオン] タブを選択します。
4. [パワーオンセキュリティの単一サインオンを許可する] チェックボックスをオンにします。

メモ：この単一サインオンを使用するには、使用しているハードウェアでパワーオンセキュリティがサポートされている必要があります。さらに、設定を変更するには、管理者の権限が与えられている必要があります。

指紋デバイス内データ管理 (オプション)

指紋記憶検査装置は、指紋センサーデバイスに保存されたデータを表示、編集するためのツールです。デバイス中のレコードがすべて表示されます。

指紋ごとに、その指紋の説明や、パワーオンセキュリティ (起動前認証)、アプリケーション (ログオンなど)、拡張セキュリティの状態などの使用方法に関する情報が表示されます。

指紋をデバイスから削除するには

1. データを削除したい場合は、該当するレコードを選択して [削除] ボタンをクリックします。削除すると、レコードの一覧にも反映されます。
2. 不要なレコードをすべて削除した後 [OK] ボタンをクリックすると、変更が確定します。[キャンセル] をクリックすれば削除を取り消すことができます。

各パスポートに1つ以上の指紋を残す必要があります。パスポート全体を管理または削除するには、[指紋の登録、または編集] ウィザードを使用します (14 ページの「指紋の登録、または編集」を参照)。

メモ：指紋を削除するための許可は、セキュリティモードのポリシー設定で指定されます (18 ページの「セキュリティモード」を参照)。一部の権限は指紋管理者のみに制限される可能性があります。

チュートリアル

[指紋チュートリアル] が起動されます。

チュートリアルでは、指紋の正しいスキャン方法、誤ったスキャン方法を、短いビデオで説明しています。また、実際に指紋をスキャンして行うことができます。

詳細については、第 3 章、8 ページの [指紋チュートリアル] を参照してください。

メモ：HTML のヘルプを表示するには、[スタート]- [プログラム]- [ThinkVantage Fingerprint Software]- [ヘルプ] を選択するか、メインの [コントロールセンター] ダイアログで [ヘルプ] アイコンをクリックします。状況依存の HTML ヘルプを表示するには、ヘルプを表示するダイアログボックスで F1 を押します。

指紋読み取り装置の情報パネル

指紋読み取り装置の情報パネルには、センサーに関する情報と指紋スキャン用のテストウィンドウが含まれています。ハードウェアで問題が発生した場合は、このダイアログでセンサーに関する詳細を確認して、テクニカルサポートなどに問い合わせることができます。

指紋読み取り装置の情報パネルを表示するには

1. [スタート]- [コントロールパネル] を選択します。
2. [指紋センサー] アイコンをクリックします。[指紋読み取り装置の情報パネル] ダイアログが表示されます。

- [バージョン] タブを選択して、センサーに関する情報 (デバイスのタイプ、名前、バージョンなど) を表示します。

情報をテキストファイルにエクスポートするには、[保存] をクリックして、ファイルの保存先を選択します (既定では FingerprintSensorVersion.txt)。

- センサーで指を読み取ったときにスキャンされた指紋のテスト画像を表示するには [指紋のテスト] を選択します。
3. [閉じる] をクリックしてダイアログウィンドウを閉じます。

